

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2373100722		
法人名	有限会社 アートプロジェクト		
事業所名	グループホーム安城福釜の家 (1号館)		
所在地	愛知県安城市福釜町里添56-3		
自己評価作成日	平成30年10月5日	評価結果市町村受理日	平成30年12月3日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2017_022_kami=true&JigyosyoCd=2373100722-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県名古屋市長区本願寺町2丁目74番地		
訪問調査日	平成30年11月2日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

穏やかに、笑顔で日々暮らしていただけますように「ゆっくり、一緒に、楽しく」を事業所の理念としていますように、職員一同協力して利用者様が安心出来るように支援させていただきます。また、御家族、地域の皆様ともコミュニケーションを図り協力を得られるように努力していきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

以前は子ども神輿を観て愉しむ程度だったのが事業所に寄ってくださるようになり、そのうち事業所で菓子を袋詰めして利用者が子どもたちに手渡す、といった蓄積を多様な場面で発展させ、開設から16年となる事業所です。「あれ、欲しい。これ買いたい」から始まり、「通帳にあるから買えるはず」ということになり、そうすると欲求が思いのままにならないことで不穏になる利用者も少なくありません。そんなときは「お金はないよ」と誤魔化したりせず、『銀行と一緒にいってATMに通帳を通し、残高を見合って納得するという支援をおこなっている』、とのエピソードには事業所の姿勢と想いが滲み、ケアへの安心感が沸きます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/>	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/>	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/>	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者様に寄り添い、「ゆっくり、一緒に、楽しく」の理念を心掛けほのぼのとした雰囲気の中で実践に繋がっています。	『ゆっくり 一緒に楽しく』を実践する一方で、その背後にある「いつなるとき何がわからない」との危機感をもつようにしようと、管理者が常々職員に言って聞かせているためか単に楽しくではない緊張感も感じられ、気持ちの良い対応がみられます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の清掃作業、町内行事に積極的に参加することで利用者様と地域の皆様と交流機会を持つ事に努めています。	日常的に自治会長が地域情報を届けてくださる等、開設から16年間積み上げた関係が実っています。例えば地域の盆踊りでは、管理者が2晩かけて何度もピストンする姿をみて、ご近所さんが「参加品は後で届けてあげるからね」と声がかかるという温かなリレーションがあります。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	より多くの地域の皆様にグループホームを理解していただけるように、グループホーム部会として福祉まつり、地域ケア推進会議等に参加しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設の現状報告、地域の問題など情報交換をさせていただき、出席者の方に今後の課題、困ったことに対して意見、アドバイスをいただきサービス向上に活かしています。	家族の出席率は低いものの、行政、地域を交えて、隔月開催が叶っています。民生委員からは空室や待機への質問が挙がったり、転倒事故についての報告があったりと、日常に即した内容を以て話し合いが進められ、透明性の高い運営を心掛けていることが視えます。	家族の参加が少ないことへの是正も含め、年間計画(日程)を以て開催日が事前に決まり、メンバーに日程協力してもらえよう工夫していくことを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議、グループホーム部会や介護相談員、生活保護担当者に相談し現状を理解していただいて協力関係を築いています。	安城市高齢福祉課は運営推進会議へ毎回職員を替えて熱心に出席くださるほか、地域包括支援センターも欠席なく、行政には手厚い協力を得ています。事業所でもグループホーム部会をはじめとする行政の集まりには努めて参加しており、講座運営のスタッフになることもあります。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は、職員が一人で事故や危険が伴うと思われる時は施錠しています。身体的拘束適正化検討委員会で身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	法令に則り身体的拘束適正化検討委員会を設置し、四半期での協議の場を設けています。現在身体拘束が必要となる症状の人はいませんが、可能性がある人や気がかりな点のある利用者について事例検討を重ねていることを議事録で確認できます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会では、虐待について話し合いグループホーム部会では講師の方に虐待について講演をお願いし職員の学ぶ機会を作っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用する方が増え職員も直接担当者の方と話す機会もあり以前より理解し支援出来るようになりました。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、改定時等十分な説明に心掛けています。面会時には御家族の不安をお聞きして必要な時は何度でも説明させていただいています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議への参加の呼びかけを手紙等で行っていますが、現状は参加者が少ないので面会時に意見や相談を受けるようにしています。	7月買い物疑似体験、8月西瓜割りといった毎月のイベントには家族の招待はありませんが、たまに面会で観ていくことになった偶然も重なり、また不定期ですが『福釜だより』を届けていて、家族も親しみをもってくれているのか、面会も日に日に増えています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各館で意見、問題点を話し合い、職員会議で議論しています。個人面談の機会も設けて反映出来るように努めています。	「事故報告書作成によって大事にならないように」と、「気づきをもって欲しい」として、管理者が職員に指導しています。『そのため法人内でも提出枚数が多く上っている』との事からも読み取れるように、真面目な職員です。昼食休憩をとり易くする工夫等実現した提案も幾つかあります。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	無理なく勤務出来る様に、シフトの相談は受け入れています。勤務実績により処遇改善に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修の機会が増えています。資格取得の際は、勤務の便宜を図り職員のスキルアップを応援しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム部会、多職種ネットワーク会議等に参加する機会が増え意見の交換も出来良いところを取り入れています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	環境の変化に戸惑うことも多く、不安の軽減に心掛け本人の不安や要望に傾聴し安心を確保することに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族の考えや要望を尊重し受け止め、信頼関係を築くように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時に本人及び御家族との面談の段階で必要としている支援を見極め対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活で、ご自分で出来ることは見守りの中で可能な限りしていただきます。また、本人のペースに合わせ一緒に過ご関係を築いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族には随時近況をお伝えし、情報を共有することで、職員と一緒に支援していくことに努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、知人の方の面会時は出来るだけゆっくり過ごしていただけるよう場所の確保に努め、次回も来ていただけるように声掛けしています。	面会時間は9時～20時ですが、時間外であっても家族の電話1本で都合をつけて対応していて、来訪者には「ここは過ごしやすい」と感じてもらいたいとして気持ちを1つに取組んでいます。炭酸のジュースが好きで職員と買い物レクも兼ねて出掛けたり、編み物や写経を続ける人もいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の会話、行動を把握することでよい関係が保てるよう努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も御家族から近況の連絡をいただいたり、ご相談を受けたりと支援に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の生活のペースもあり、本人の希望や意向を把握し危険の無い限り本人主体での支援に努めています。	入居の折には(可能な状況であれば)自宅に向いてアセスメントをとり、サービス担当者会議に出席する家族もいて、総じて丁寧な聞き取りや相談の場をもっています。管理者をはじめ職員は利用者の隣に座って話を聞く機会を持ち、その中で初めて知る内容を得ることもあります。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御本人、御家族からこれまでの暮らしの様子を聞きながら、少しでも近づけるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとり日々変化していくことも多く把握するためにも会話、行動に注意し支援に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御本人、御家族の意向をお聞きし、体調の変化など主治医、看護師と相談し介護計画に反映出来るようにしています。	評価表(モニタリング実施記録)は毎月実施するという丁寧さで、職員が介護計画を身近に感じられることにもつながっています。またサービス担当者会議の要点(第5表)にも利用者の普段の声を代弁する職員の言葉が躍っていることが印象的です。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々介護記録を記入することで、職員間での情報共有に繋がり、現状の支援の介護計画に反映出来るように努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	御本人、御家族の状況の変化に伴い、その都度柔軟に対応出来るように心掛けています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事に参加したり、施設を利用することで地域の方との交流も生まれ、楽しみを持って生活の範囲を広げられるように支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医による月2回の往診に、歯科、眼科の往診にも対応できるように各医師との連携に努め、安心して生活できるように支援しています。	「通院介助が大変…」という家族もいて、27名全員が月2回訪問診療がある事業所協力医に替っています。診療当日は職員が立ち会い、医療情報は詳細記録に残しています。また歯科医、眼科の医師もお願いしたら往診にきてくださるようになり、医療環境に恵まれています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職が気付いたことを、看護師、主治医に相談することで、適切な処置、受診につながられるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、退院時の情報交換を医療機関と介護職員が行い、利用者様の状態の把握に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早期から御本人、御家族、主治医、介護職員で話し合い、事業所で出来ることを説明し理解していただき利用者様を尊重した支援に努めています。	契約時に重度化や看取りの話を家族とはおこなっています。心身状態の変化があれば早い段階で方向性を検討し、家族と話し合う場をもつとともに必要に応じて医師にも入ってもらい、少しでも家族、本人が納得のゆくよう支援しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に研修、勉強会を行い、急変時、事故発生時に対応出来るようにマニュアルも整備し実践に備えています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議等で、地域の方からのアドバイスや協力を受けながら、毎年2回の防災訓練を行い夜間想定訓練も実施しています。	これまでも夜間想定や風水害想定での実施があり、年2回の法定訓練は、本年分は現時点であと1回の実施を予定しています。AEDの設置があり、過去に3回の使用実績があります。実践を通じて学べたこともあり、また講習を受けようとの気持ちになる効用も得ています。	次の2点のことを踏まえ、地域と協働で防災訓練が進むことを期待します。①消防署が広域連合となったことから職員を派遣しなくなった②自治会では「豚汁あるからおいで」といったプチイベントが豊富にある

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その人に合った声掛けをすることで、人格を尊重し傷つけないように気をつけています。	利用者間で大きな声が出た時は、速やかに職員が間に入り、席を離して距離をとっています。歯磨きで「きれいになった?」「よかったね」と優しく都度声をかけ、本人の有用感を満たしている様子も視認したほか、何事につけ利用者に「ありがとう」という職員の姿が印象的です。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常会話の中からでも本人が希望されている事柄に気付くこともあり、どうすれば希望がかなうか話し合いながら支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活スタイル、ペースを尊重し希望に添えるように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	おしゃれがしたいという気持ちに寄り添い気に入った服を着たり、着心地もその方の要望のひとつと考えて支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の好みに合った味付けに気を配り可能な限り利用者様と準備、片付けを一緒に行っています。	食材は業者から届いた食材を職員が手づくりしています。調理中から美味しそうな匂いが立ち込めて、食事へ向けた態勢が整えられていおり、また特設課題のある利用者は別として、ごく普通の家庭の献立提供です。	職員は利用者と食事を摂ることは現在おこなっておらず、利用者のみで食卓を囲んでいます。特設課題はありませんが、隣に座って感想を尋ねる機会があると、なお良いと思います。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量は毎食記録し、水分摂取の少ない方は職員で情報を共有し小まめに声掛けを行い水分量の確保に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行い、就寝前には義歯を預かり洗浄を行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	必要に応じて排泄表に記入し日常のパターンを把握しトイレへの誘導、介助を行い排泄の自立に向けての支援を行っています。	法人本部からは「職員の労務軽減を～」との理由で「排泄チェック表を廃止しても可」との案ありますが、事業所職員の総意でチェックを続け、「なるべく長くトイレで」を目指しています。目立った向上はないものの、『維持』が叶っています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操、散歩、水分補給など個々にあった対応に心掛け、場合によっては主治医に相談し指示を仰いでいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴を楽しみにされている方は多く、安全に入浴していただけるよう体調管理を含め利用者様のペースに合わせて支援しています。	本当は「毎日入ってもらいたい」と考えていて、開設から数年は可能だったものの、利用者の加齢に伴う心身の状態を鑑みて、隔日入浴となっています。拒否対応への対応工夫は沢山備え、入浴チケットの発行等でゆしみのあるお風呂につなげています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の室温を季節に合わせて調整したり、照明の明るさに配慮するなどし、就寝前のトイレ誘導をし安眠出来るように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時は個々の薬の日付等の確認を行い体調の変化があれば看護師、主治医に相談し早期の対応に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の興味のある事を自由にしていただけのように支援し、役割を持ってやりがいが生まれるように努めています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候、気温を考慮しながら散歩、買い物に出掛けています。職員と地域の行事に参加し、特別な希望は御家族と相談しながら対応しています。	長年の積み重ねで、散歩は幾つかコースがあり、初詣も近くの神社に出かけ、また成人式の見学も恒例となりつつあります。気温や日差しが厳しくない日は外気浴も盛んです。事業所の車輛が小さいこともあって、数名でのミニドライブを頻回におこなっています。	外出を年間行事にしにくいのは、費用の点や、利用者本人の重度化により無理があるものと推察しますが、年に1度程度は個別の、その人らしい(または望む)外出があると、なお良いと思います。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員と一緒に買い物に出掛けたり、御家族の協力も得ながら買い物に出掛けています。施設内で買い物体験をしていただいています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族からの手紙、電話を取り次いだり、御本人の希望があれば電話を掛ける支援をしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掃除は毎日行い、整理整頓に心掛けています。季節に応じた写真や掲示物を利用者様と一緒に作り季節を感じていただけるように努めています。	愛らしい小菊やお洒落なカーネーションが活けられ、ボランティアが描いた似顔絵とともに、皆で取組んだ貼り絵も色彩豊かで華やかです。似顔絵は、「新入居者のものがない」として職員が2名分を追加制作して、利用者の気持ちを慮った職員の優しさで一際輝いていました。	手が届きにくい箇所や視界に入りにくいスペースに埃がたまっていたり、僅かですが汚損のスリッパもあります。1ヶ月に1度程度、細部などまで掃除をする日を設定する等、掃除方法の是正を期待します。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりの体調、歩行状態等を考慮しつつ希望を伺いながら、気の合う方と楽しめる居場所作りに心掛けています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御本人が落ち着き、且つ安全にくつろげるように、なるべく使い慣れた物や好みの物を活かして過ごせるように、御家族とも相談させていただきます。	「猫が大好き」という利用者の居室には写真が壁いっぱいにつながっています。また自宅ではベッドを使用したことがないという人は、マットレスに布団の暮らしを続け、小さめな絨毯と座椅子の目前にテレビが配され、安寧の時間を過ごしていることが十二分に伝わります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安心、安全に生活していただくよう環境整備を行っています。表示等を大きくしたり、出来ることを危険のない範囲で職員が見守りながら支援しています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2373100722		
法人名	有限会社 アートプロジェクト		
事業所名	グループホーム安城福釜の家 (2号館)		
所在地	愛知県安城市福釜町里添56-3		
自己評価作成日	平成30年10月5日	評価結果市町村受理日	平成30年12月3日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kazokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action_kouhou_detail_2017_022_kami=true&JigyosyoCd=2373100722-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県名古屋瑞穂区本願寺町2丁目74番地		
訪問調査日	平成30年11月2日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

穏やかに、笑顔で日々暮らしていただけますように「ゆっくり、一緒に、楽しく」を事業所の理念としていますように、職員一同協力して利用者様が安心出来るように支援させていただきます。また、御家族、地域の皆様ともコミュニケーションを図り協力を得られるように努力していきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

以前は子ども神輿を観て愉しむ程度だったのが事業所に寄ってくださるようになり、そのうち事業所で菓子を袋詰めして利用者が子どもたちに手渡す、といった蓄積を多様な場面で発展させ、開設から16年となる事業所です。「あれ、欲しい。これ買いたい」から始まり、「通帳にあるから買えるはず」ということになり、そうすると欲求が思いのままにならないことで不穏になる利用者も少なくありません。そんなときは「お金はないよ」と誤魔化したりせず、『銀行と一緒にいってATMに通帳を通し、残高を見合って納得するという支援をおこなっている』、とのエピソードには事業所の姿勢と想いが滲み、ケアへの安心感が沸きます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者様に寄り添い、「ゆっくり、一緒に、楽しく」の理念を心掛けほのぼのとした雰囲気の中で実践に繋げています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の清掃作業、町内行事に積極的に参加することで利用者様と地域の皆様と交流機会を持つ事に努めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	より多くの地域の皆様にグループホームを理解していただけるように、グループホーム部会として福祉まつり、地域ケア推進会議等に参加しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設の現状報告、地域の問題など情報交換をさせていただき、出席者の方に今後の課題、困ったことに対して意見、アドバイスをいただきサービス向上に活かしています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議、グループホーム部会や介護相談員、生活保護担当者に相談し現状を理解していただいて協力関係を築いています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は、職員が一人で事故や危険が伴うと思われる時は施錠しています。身体的拘束適正化検討委員会で身体拘束をしないケアに取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会では虐待について話し合い、職員一人一人が注意を払いお互いが虐待についての意識を高めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用する方が増え職員も直接担当者の方と話す機会もあり以前より理解し支援出来るようになりました。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、改定時等十分な説明に心掛けています。面会時には御家族の不安をお聞きして必要な時は何度でも説明させていただいています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議への参加の呼びかけを手紙等で行っていますが、現状は参加者が少ないので面会時に意見や相談を受けるようにしています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各館で意見、問題点を話し合い、職員会議で議論しています。個人面談の機会も設けて反映出来るように努めています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	無理なく勤務出来る様に、シフトの相談は受け入れています。勤務実績により処遇改善に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修の機会が増えています。資格取得の際は、勤務の便宜を図り職員のスキルアップを応援しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム部会、多職種ネットワーク会議等に参加する機会が増え意見の交換も出来良いところを取り入れています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	環境の変化に戸惑うことも多く、不安の軽減に心掛け本人の不安や要望に傾聴し安心を確保することに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族の考えや要望を尊重し受け止め、信頼関係を築くように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時に本人及び御家族との面談の段階で必要としている支援を見極め対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活で、ご自分で出来ることは見守りの中で可能な限りさせていただきます。また、本人のペースに合わせ一緒に過ご関係を築いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族には随時近況をお伝えし、情報を共有することで、職員と一緒に支援していくことに努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、知人の方の面会時は出来るだけゆっくり過ごしていただけるよう場所の確保に努め、次回も来ていただけるように声掛けしています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の会話、行動を把握することでよい関係が保てるよう努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も御家族から近況の連絡をいただいたり、ご相談を受けたりと支援に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の生活のペースもあり、本人の希望や意向を把握し危険の無い限り本人主体での支援に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御本人、御家族からこれまでの暮らしの様子を聞きながら、少しでも近づけるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとり日々変化していくことも多く把握するためにも会話、行動に注意し支援に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御本人、御家族の意向をお聞きし、体調の変化など主治医、看護師と相談し介護計画に反映出来るようにしています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々介護記録を記入することで、職員間での情報共有に繋がり、現状の支援の介護計画に反映出来るように努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	御本人、御家族の状況の変化に伴い、その都度柔軟に対応出来るように心掛けています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事に参加したり、施設を利用することで地域の方との交流も生まれ、楽しみを持って生活の範囲を広げられるように支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医による月2回の往診に、歯科、眼科の往診にも対応できるように各医師との連携に努め、安心して生活できるように支援しています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職が気付いたことを、看護師、主治医に相談することで、適切な処置、受診につなげられるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、退院時の情報交換を医療機関と介護職員が行い、利用者様の状態の把握に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早期から御本人、御家族、主治医、介護職員で話し合い、事業所で出来ることを説明し理解していただき利用者様を尊重した支援に努めています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に研修、勉強会を行い、急変時、事故発生時に対応出来るようにマニュアルも整備し実践に備えています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議等で、地域の方からのアドバイスや協力を受けながら、毎年2回の防災訓練を行い夜間想定訓練も実施しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その人に合った声掛けをすることで、人格を尊重し傷つけないように気をつけています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常会話の中からも本人が希望されている事柄に気付くこともあり、どうすれば希望がかなうか話し合いながら支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活スタイル、ペースを尊重し希望に添えるように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	おしゃれがしたいという気持ちに寄り添い気に入った服を着たり、着心地もその方の要望のひとつと考えて支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の好みに合った味付けに気を配り可能な限り利用者様と準備、片付けを一緒に行っています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量は毎食記録し、水分摂取の少ない方は職員で情報を共有し小まめに声掛けを行い水分量の確保に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行い、就寝前には義歯を預かり洗浄を行っています。		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	必要に応じて排泄表に記入し日常のパターンを把握しトイレへの誘導、介助を行い排泄の自立に向けての支援を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操、散歩、水分補給など個々にあった対応に心掛け、場合によっては主治医に相談し指示を仰いでいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴を楽しみにされている方は多く、安全に入浴していただけるよう体調管理を含め利用者様のペースに合わせて支援しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の室温を季節に合わせて調整したり、照明の明るさに配慮するなどし、就寝前のトイレ誘導をし安眠出来るように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時は個々の薬の日付等の確認を行い体調の変化があれば看護師、主治医に相談し早期の対応に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の興味のある事を自由にしていただけるように支援し、役割を持ってやりがいが生まれるように努めています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候、気温を考慮しながら散歩、買い物に出掛けています。職員と地域の行事に参加し、特別な希望は御家族と相談しながら対応しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員と一緒に買い物に出掛けたり、御家族の協力も得ながら買い物に出掛けています。施設内で買い物体験をしていただいています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族からの手紙、電話を取り次いだり、御本人の希望があれば電話を掛ける支援をしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掃除は毎日行い、整理整頓に心掛けています。季節に応じた写真や掲示物を利用者様と一緒に作り季節を感じていただけるように努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりの体調、歩行状態等を考慮しつつ希望を伺いながら、気の合う方と楽しめる居場所作り心掛けています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御本人が落ち着き、且つ安全にくつろげるように、なるべく使い慣れた物や好みの物を活かして過ごせるように、御家族とも相談させていただきます。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安心、安全に生活していただくよう環境整備を行っています。表示等を大きくしたり、出来ることを危険のない範囲で職員が見守りながら支援しています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2373100722		
法人名	有限会社 アートプロジェクト		
事業所名	グループホーム安城福釜の家 (3号館)		
所在地	愛知県安城市福釜町里添56-3		
自己評価作成日	平成30年10月5日	評価結果市町村受理日	平成30年12月3日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kazokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2017_022_kami=true&JigyosyoCd=2373100722-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県名古屋瑞穂区本願寺町2丁目74番地		
訪問調査日	平成30年11月2日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

穏やかに、笑顔で日々暮らしていただけますように「ゆっくり、一緒に、楽しく」を事業所の理念としていますように、職員一同協力して利用者様が安心出来るように支援させていただきます。また、御家族、地域の皆様ともコミュニケーションを図り協力を得られるように努力していきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

以前は子ども神輿を観て愉しむ程度だったのが事業所に寄ってくださるようになり、そのうち事業所で菓子を袋詰めして利用者が子どもたちに手渡す、といった蓄積を多様な場面で発展させ、開設から16年となる事業所です。「あれ、欲しい。これ買いたい」から始まり、「通帳にあるから買えるはず」ということになり、そうすると欲求が思いのままにならないことで不穏になる利用者も少なくありません。そんなときは「お金はないよ」と誤魔化したりせず、『銀行と一緒にいってATMに通帳を通し、残高を見合って納得するという支援をおこなっている』、とのエピソードには事業所の姿勢と想いが滲み、ケアへの安心感が沸きます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者様に寄り添い、「ゆっくり、一緒に、楽しく」の理念を心掛けほのぼのとした雰囲気の中で実践に繋がっています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の清掃作業、町内行事に積極的に参加することで利用者様と地域の皆様と交流機会を持つ事に努めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	より多くの地域の皆様にグループホームを理解していただけるように、グループホーム部会として福祉まつり、地域ケア推進会議等に参加しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設の現状報告、地域の問題など情報交換をさせていただき、出席者の方に今後の課題、困ったことに対して意見、アドバイスをいただきサービス向上に活かしています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議、グループホーム部会や介護相談員、生活保護担当者に相談し現状を理解していただいて協力関係を築いています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は、職員が一人で事故や危険が伴うと思われる時は施錠しています。身体的拘束適正化検討委員会で身体拘束をしないケアに取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について勉強会を行い、情報を共有し虐待防止に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用する方が増え職員も直接担当者の方と話す機会もあり以前より理解し支援出来るようになりました。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、改定時等十分な説明に心掛けています。面会時には御家族の不安をお聞きして必要な時は何度でも説明させていただいています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議への参加の呼びかけを手紙等で行っていますが、現状は参加者が少ないので面会時に意見や相談を受けるようにしています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各館で意見、問題点を話し合い、職員会議で議論しています。個人面談の機会も設けて反映出来るように努めています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	無理なく勤務出来る様に、シフトの相談は受け入れています。勤務実績により処遇改善に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修や勉強会の機会を増やし、スキルアップに繋がるように心掛けています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム部会、多職種ネットワーク会議等に参加する機会が増え意見の交換も出来良いところを取り入れています。		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	環境の変化に戸惑うことも多く、不安の軽減に心掛け本人の不安や要望に傾聴し安心を確保することに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族の考えや要望を尊重し受け止め、信頼関係を築くように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時に本人及び御家族との面談の段階で必要としている支援を見極め対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活で、ご自分で出来ることは見守りの中で可能な限りさせていただきます。また、本人のペースに合わせ一緒に過ご関係を築いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族には随時近況をお伝えし、情報を共有することで、職員と一緒に支援していくことに努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、知人の方の面会時は出来るだけゆっくり過ごしていただけるよう場所の確保に努め、次回も来ていただけるように声掛けしています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の会話、行動を把握することでよい関係が保てるよう努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も御家族から近況の連絡をいただいたり、ご相談を受けたりと支援に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の生活のペースもあり、本人の希望や意向を把握し危険の無い限り本人主体での支援に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御本人、御家族からこれまでの暮らしの様子を聞きながら、少しでも近づけるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとり日々変化していくことも多く把握するためにも会話、行動に注意し支援に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御本人、御家族の意向をお聞きし、体調の変化など主治医、看護師と相談し介護計画に反映出来るようにしています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々介護記録を記入することで、職員間での情報共有に繋がり、現状の支援の介護計画に反映出来るように努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	御本人、御家族の状況の変化に伴い、その都度柔軟に対応出来るように心掛けています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事に参加したり、施設を利用することで地域の方との交流も生まれ、楽しみを持って生活の範囲を広げられるように支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医による月2回の往診に、歯科、眼科の往診にも対応できるように各医師との連携に努め、安心して生活できるように支援しています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職が気付いたことを、看護師、主治医に相談することで、適切な処置、受診につなげられるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、退院時の情報交換を医療機関と介護職員が行い、利用者様の状態の把握に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早期から御本人、御家族、主治医、介護職員で話し合い、事業所で出来ることを説明し理解していただき利用者様を尊重した支援に努めています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に研修、勉強会を行い、急変時、事故発生時に対応出来るようにマニュアルも整備し実践に備えています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議等で、地域の方からのアドバイスや協力を受けながら、毎年2回の防災訓練を行い夜間想定訓練も実施しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その人に合った声掛けをすることで、人格を尊重し傷つけないように気をつけています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常会話の中からも本人が希望されている事柄に気付くこともあり、どうすれば希望がかなうか話し合いながら支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活スタイル、ペースを尊重し希望に添えるように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	おしゃれがしたいという気持ちに寄り添い気に入った服を着たり、着心地もその方の要望のひとつと考えて支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の好みに合った味付けに気を配り可能な限り利用者様と準備、片付けを一緒に行っています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量は毎食記録し、水分摂取の少ない方は職員で情報を共有し小まめに声掛けを行い水分量の確保に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行い、就寝前には義歯を預かり洗浄を行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	必要に応じて排泄表に記入し日常のパターンを把握しトイレへの誘導、介助を行い排泄の自立に向けての支援を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操、散歩、水分補給など個々にあった対応に心掛け、場合によっては主治医に相談し指示を仰いでいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴を楽しみにされている方は多く、安全に入浴していただけるよう体調管理を含め利用者様のペースに合わせて支援しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の室温を季節に合わせて調整したり、照明の明るさに配慮するなどし、就寝前のトイレ誘導をし安眠出来るように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時は個々の薬の日付等の確認を行い体調の変化があれば看護師、主治医に相談し早期の対応に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の興味のある事を自由にしていただけるように支援し、役割を持ってやりがいが生まれるように努めています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候、気温を考慮しながら散歩、買い物に出掛けています。職員と地域の行事に参加し、特別な希望は御家族と相談しながら対応しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員と一緒に買い物に出掛けたり、御家族の協力も得ながら買い物に出掛けています。施設内で買い物体験をしていただいています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族からの手紙、電話を取り次いだり、御本人の希望があれば電話を掛ける支援をしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掃除は毎日行い、整理整頓に心掛けています。季節に応じた写真や掲示物を利用者様と一緒に作り季節を感じていただけるように努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりの体調、歩行状態等を考慮しつつ希望を伺いながら、気の合う方と楽しめる居場所作りに心掛けています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御本人が落ち着き、且つ安全にくつろげるように、なるべく使い慣れた物や好みの物を活かして過ごせるように、御家族とも相談させていただきます。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安心、安全に生活していただくよう環境整備を行っています。表示等を大きくしたり、出来ることを危険のない範囲で職員が見守りながら支援しています。		